

防災だより

福井県立福井南特別支援学校

福井市南居町 82 (0776) 36-7631



第 6 号

平成 28 年 7 月 20 日

*学校と御家庭が協力し合いながら防災の取組をしていくために、「防災だより」を発行していきます。

初めての小中学部引き渡し訓練

6月4日(土)小中学部体育大会の後、児童生徒の引き渡し訓練を行いました。この訓練は大災害発生後、安全かつ確実にお子さんを保護者の方に引き渡すために、引き渡しの流れを体験し、課題に気付いたり、改善したりすることを目的にしました。



御協力ありがとうございました



実際の災害はシミュレーションどおりとはいかないでしょうが、まずはお子さんの安否をお知らせし、御家族の安否や引き取りが可能かどうかの確認をしたりする必要があります。今回利用した緊急メールの返信方法は、短時間で一括して保護者の皆様の状況が確認でき、とても有効だと感じました。

また、児童生徒も事前学習からしっかり話を聞いていたこともあり、スムーズに避難できました。体育大会の参加賞のジュースが一人1本ずつ配られたことも良かったと思います。もし避難の必要があるときは、飲み物やおやつなども持って行けたらいいですね。保護者の方に引き取られていく子どもたちの顔はともうれしそうでした。また機会を捉えて緊急メールのやりとりの練習などしていきたいと思います。これからも御協力よろしくお願いします。

火災想定 避難訓練

6/20(月) 消防署の方と「お・は・し・も」を守って避難できたか、確認しました。



万が一の時に、あわてず落ち着いて避難できるように繰り返し練習することが大切です。今回は、高等部棟2階から出火したという想定でした。外階段を使うルートで安全に避難した高等部はさすがです。非常ベルや非常放送が流れる小、中学部から高等部まで全員が無事に避難できたことを、消防士さんに褒められました。



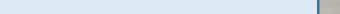
小学部・初めての避難



高等部・外階段から避難



中学部・グラウンドへ避難



煙体験・前が見えない真っ白な部屋は
こわいよお

「日常が大事」コーナー

みなさんは非常時のために何か準備をされていますか？ 水、食料、懐中電灯・・・等の準備はもちろんですが、忘れてはいけないのがお子さんに「非常時を伝える方法」の準備です。

「なぜ停電なの？」「いつお家に帰れるの？」「ここはどこ？（避難所）」など、お子さんを**仲間はずれにしないで**丁寧に伝えることが不可欠です。

このコーナーでは、「非常時」のために日常からしておきたい支援のコツを載せていきます。

第1回 テーマ・・・いつもの支援が命綱 「見せて伝えよう」

自閉症や知的障害のある人にとって「見せて伝える」ことは、足が不自由な人にとっての車いすと同じです。見せることで分かります。分かることで落ち着けます。

「いつも見せて伝え、非常時は書くものを持って避難する」を覚えてください。

・現時点からの本人の予定をスケジュールする。

- 1 お家
- 2 避難所に行く（●●小学校）
- 3 夕ご飯
- 4 お母さんと遊ぶ
- 5 避難所で寝る



簡単なイラストで伝えてもOK

カレンダーの一例

・カレンダーで「どこで過ごす」、「何がある」等を記します。本人が気になる情報や学校が再開する日なども、まずはどこかに記入しましょう。どこにも記載がないことでかえって不安になります。※日ごろからカレンダーやスケジュールで、日々の暮らしを見える形にしておくことが大切です。



福井地方気象台・防災アドバイザーより

全国で大雨による災害が多発しています。私たちの暮らす福井県のリアルタイムな気象情報がインターネットで分かります。ぜひ一度「福井地方気象台」や「福井県 河川・砂防総合情報」「土砂災害危険度情報」などで検索してみてください。ためになる情報がいっぱいですよ(o^)/^^

学校ホームページURLはこちら

http://www.fukuiminami_sh.ed.jp/

学校HPの「危機管理」の中に「安心・安全な学校作り」のページがあります。この「防災だより」とともにぜひ御覧ください。